

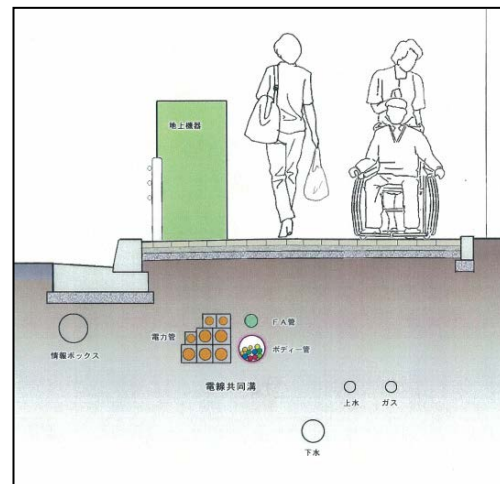
## CCB（電線共同溝）設計

### 目的

無電柱化は、昭和61年度から3期にわたる「電線類地中化計画」、平成11～15年度の「新電線類地中化計画」、平成16～20年度の「無電柱化推進計画」に基づき、整備を行ってきました。

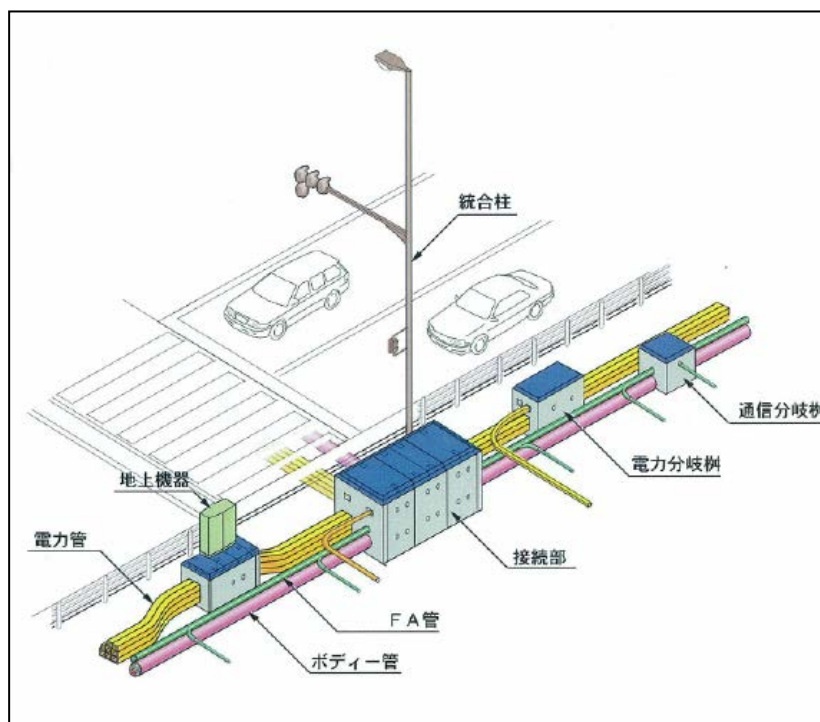
現在は、「無電柱化に係るガイドライン」に沿って、市街地の幹線道路や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観・住環境の形成、災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上、歴史的街並みの保全、観光振興、地域文化の復興、地域活性化等に資する箇所において、地中化以外の手法も活用しつつ無電柱化を進めています。一方、電線共同溝の技術も変化しており、コスト縮減、既成市街地など狭い歩道への対応、地上機器類の柱上化などへの取り組みがなされ、次世代型電線共同溝、ソフト地中化などが進められています。

この事業に対し、弊社では数多くの経験と実績により計画、調査、設計、維持管理の全ての段階で総合的にお手伝いをいたします。



### 内容

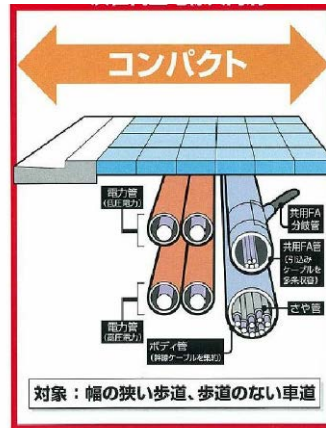
- ① 計画： 事業認定に向けた基本計画の策定や協議資料の作成。
- ② 調査： 現地踏査、測量、占用物件調査などにより道路、沿道、埋設状況の整理をします。
- ③ 設計： 発注機関、参画事業者（各電線管理者）、および占用事業者（上水道、下水道、ガス等）との調整をもとに、最新の技術情報により設計を進めます。
- ④ 維持管理： 現地調査、資料収集を行い台帳作成、更新し維持管理の基礎資料を作成します。



## 技術ポイント

### (1) 電線共同溝

- ① 常に新しい情報を収集し、それらを取り入れた次世代型電線共同溝の計画をすることができます。
- ② 地下埋設物への移設や影響を抑え、経済的な計画をすることができます。
- ③ 景観に配慮した歩道修景計画などと一体となった計画をすることができます。
- ④ 既存の地中管路などの状況を確認し、より経済的な既存ストックを有効活用した計画をすることができます。

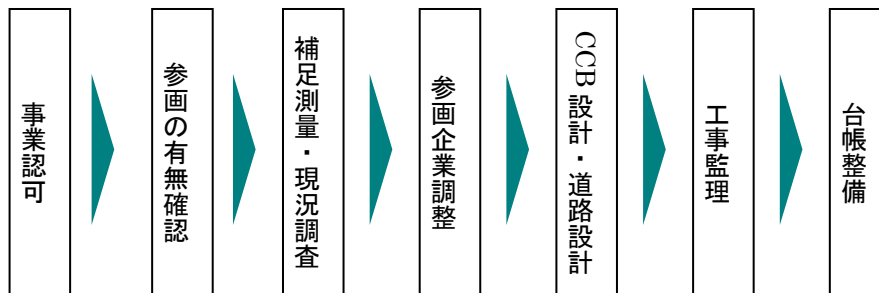


### (2) 台帳整備

現地調査などを基に、ケーブルの条数や径などを分かりやすく整理し、ケーブル入線の追加といった増設などにも対応できる台帳の作成を行うことができます。



## 事業の流れ〔当社の実施範囲〕



## 当社実績

H28 可児駅前線道路詳細設計修正設計及び電線共同溝修正設計業務（可児市）

H25 都清委第9号（都）草薙駅北口通線電線共同溝詳細設計業務（静岡市）

H15 国道19号守山電線共同溝幸心地区設計業務（中部地方整備局 名古屋国道事務所）

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先：事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)